

今回の数字

東経

136 度 13 分 10 秒

北緯

36 度 09 分 41 秒

作成日：平成 25 年 7 月 17 日

作成元：坂井市役所 企画情報課

TEL:0776-50-3013

FAX:0776-66-4837

MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～坂井市の重心で何をさけぶ？～

7 月 11 日は『世界人口デー』です。1987 年の同日に世界の人口が 50 億人を越えたことから、国連人口基金（UNFPA）によって制定されました。

国勢調査では、日本国内に住んでいるすべての人や世帯を対象にしている利点を活かし、市区町村よりも小さい地域（基本単位区）別の集計を行い、細かな地域分析が行われています。

今回は、平成 22 年国勢調査の結果から人口重心についてご紹介します。

□『人口重心』とは？

人口重心とは、人口の 1 人 1 人が同じ重さを持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことができる点をいいます。

市区町村の人口重心は基本単位区別集計結果から計算し、都道府県の人口重心はこの市区町村の人口重心を用いて計算し、全国の人口重心はこの都道府県の人口重心を用いて計算しています。

総務省統計局が公表した平成 22 年国勢調査結果による我が国の人口重心は、東経 137 度 01 分 45.46 秒、北緯 35 度 35 分 35.31 秒となっており、これは岐阜県関市富乃保あたりの位置になるそうです。

また、福井県の人口重心は、東経 136 度 10 分 20.79 秒、北緯 35 度 57 分 19.45 秒となっており、鯖江市小黒町 3 丁目のあたりの位置になるようです。

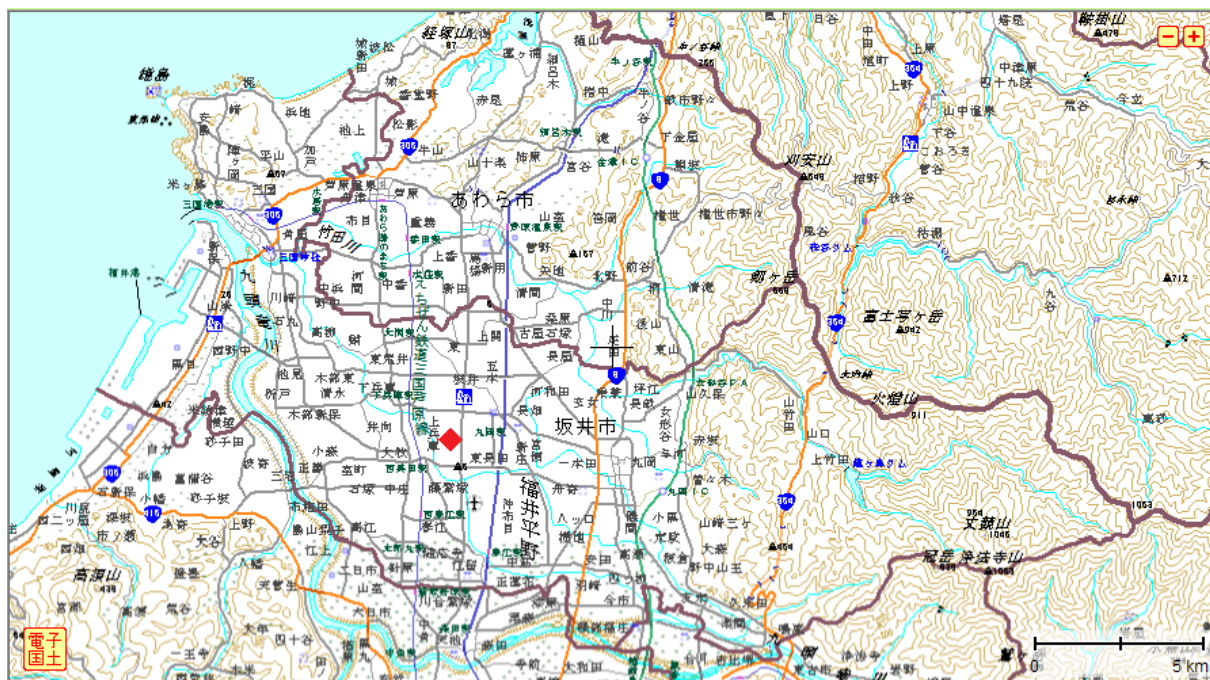
出典：「統計トピックスNo.61. 我が国の人口重心

－平成 22 年国勢調査結果から－（総務省統計局）

□坂井市の人口重心はどこ？

それでは、私たちの住む坂井市の人口重心はどのあたりにあるのでしょうか。

平成 22 年国勢調査結果によると、坂井市の人口重心は、東経 136 度 13 分 10.24 秒、北緯 36 度 09 分 41.05 秒となっています。下の坂井市の地図中、◇で示している場所あたりです。これは、坂井市役所本庁から南西方向へ約 1.2Km、坂井市坂井町上新庄、徳分田あたりの位置となります。



□坂井市の人口重心はどこに移動？

平成 21 年に発行した『さかい～統計情報館』Vol. 12 では、平成 17 年国勢調査結果による坂井市の人口重心は、東経 136 度 13 分 08 秒、北緯 36 度 09 分 44 秒とご紹介し、平成 22 年は南東方向に移動すると予想を立てました。

では、坂井市の人口重心はどの方向にどれくらい移動したのでしょうか。平成 17 年と平成 22 年の坂井市の人口重心を表にしてみました。

坂井市の人口重心(平成17年 22年国勢調査)

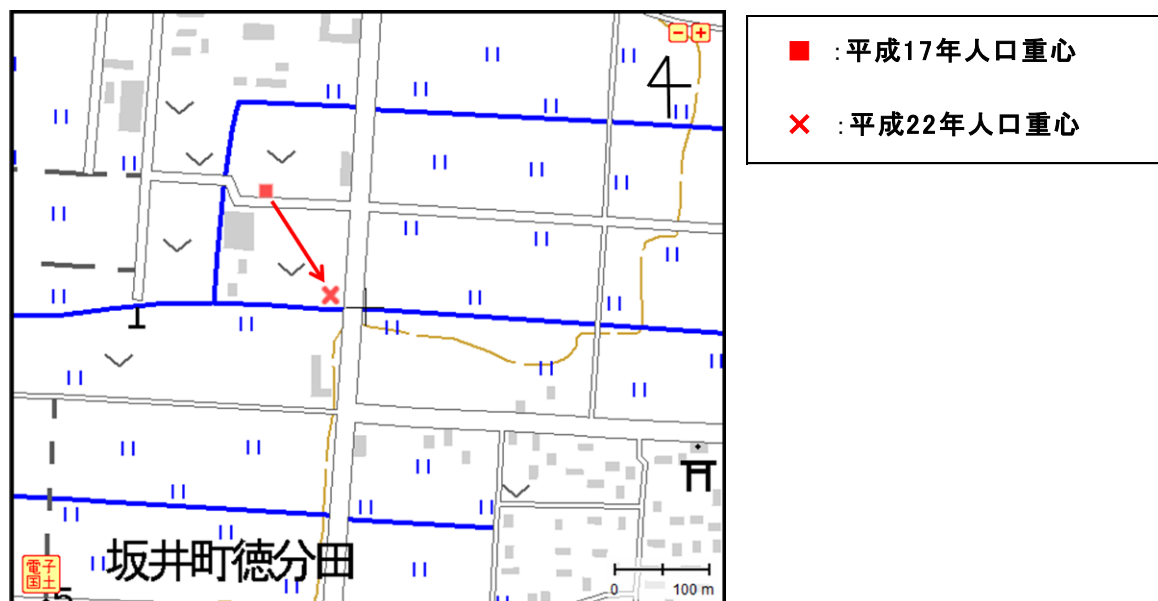
平成17年		平成22年	
東経	北緯	東経	北緯
136度13分08秒	36度09分44秒	136度13分10秒	36度09分41秒

資料：総務省統計局

緯度と経度だけでは、人口重心がどのように移動したのかは分かりませんね。

そこで、次のページでは、坂井市ホームページの『坂井市 Web Map』を使って、平成 17 年と平成 22 年の人口重心の位置を地図上に表してみました。『坂井 Web Map』では、緯度や経度を入力して地図の中心に移動表示することができます。

坂井市人口重心の移動(平成 17 年 22 年国勢調査)



上の地図をみると、Vol. 12 で予想したとおり、坂井市の人口重心が南東方向に移動していることがわかります。また、平成 17 年から平成 22 年の移動距離を測ってみると約 105m でした。

□人口重心と坂井市内人口の関係

平成 17 年と平成 22 年の坂井市の旧町別国勢調査人口を比較した表を作成してみました。

国勢調査人口(平成17年、平成22年)

	平成17年 (人)	平成22年 (人)	増加数 (人)	増加率 (%)
坂井市総数	92,318	91,900	△ 418	△ 0.45
三国町	22,936	22,003	△ 933	△ 4.07
丸岡町	32,461	32,452	△ 9	△ 0.03
春江町	23,968	24,502	534	2.23
坂井町	12,953	12,943	△ 10	△ 0.08

資料：国勢調査報告書

坂井市全体では、418 人の減少となりました。しかし、旧 4 町の内訳は、丸岡町、坂井町では変化が少ない一方で、三国町は 933 人も減少、春江町では 534 人増加しています。

人口 1 人 1 人が同じ重さだと仮定している人口重心は、当然三国町から春江町側に移動することになります。春江町は三国町から見ると南東方向にあるので、地図上で示した人口重心の移動が裏付けられています。

人口重心によって、その地域の人口分布や移動の状況が示されます。更に重心の位置を時系列に表示することにより、人口分布の推移を把握することができます。人口は、社会を構成する最も基礎となる要素なので、人口の変化は、そこに住む人々の生活や経済に密接に関わりがあります。

これまで紹介してきました人口重心は、公共施設の適切な配置などの行政施策や、民間事業者による合理的な出店計画などにも活用されています。

「世界の中心で、愛を叫ぶ」というベストセラー小説があります。過去に人口重心があった岐阜県美並村には『日本まん真ん中センター』という建物があるそうです。

皆さんは坂井市の中心（重心）で何を叫びますか？

今回ご紹介した坂井市の人口重心の近くを訪れた際には、心の中で何か叫んでみてはいかがでしょうか。

☆今回の数字の答え☆：坂井市の人口重心（平成 22 年国勢調査）